

はぐくむ光のびる若芽

(250)

小川台 鈴木 早苗

私の家族は、夫の両親、私達夫婦、3姉妹の7人家族です。

長女のあずさは、小学2年生です。マイペースな性格ですが、誰とも仲良くなる事ができて、学校から帰ってくる、すぐ友達が家に遊びに来ます。最近、食事の片付け洗いをすすんでしてくれるので、とても助かります。よく人から「しっかりしているね。」と言われるのですが、嬉しい反面、少し心配です。今のまま長所として伸ばしていけたらいいと思っています。

次女の礼奈は、小学1年生です。少し引込み思案なところもありますが、人や動物に優しく、絵を描くことや折り紙が好きで、よく見せてくれます。最近、少々口が悪いように思うのですが、2

番目にしてはおとなしい子で、自己主張が出てきたのだと大目にみています。

三女の彩乃は、保育園の年少です。姉達に鍛えられたのか、少し強がりなところもありますが、

3姉妹の成長を楽しみに



3人で遊んでいる時は、仲が良いのか悪いのか、長女が次女かわからないくらいに騒ぎになっています。しかし、そんな様子をあと何年見られるでしょうか？ できることなら、いつまでも、今のまま3人がケンカをしながらも、力を合わせ、相談しながら、成長していつてほしいと願っています。

その子供達の成長とともに、親自身も成長しなければいけないと、考えさせられます。

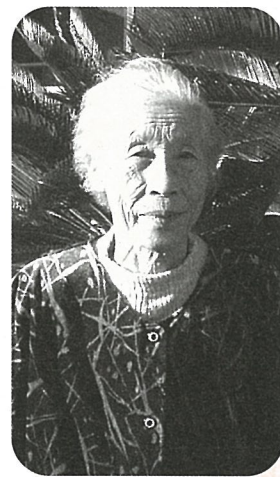
時々甘えん坊な面も見せてくれます。自分より年下の子の面倒を見るのが好きで、ちょっぴり姉さん気分を味わっているようです。

そして、両親には、保育園の送り迎えや、学校から帰宅してからの面倒を見てもらっています。

3人で遊んでいる時は、仲が良いのか悪いのか、長女が次女かわからないくらいに騒ぎになっています。しかし、そんな様子をあと何年見られるでしょうか？ できることなら、いつまでも、今のまま3人がケンカをしながらも、力を合わせ、相談しながら、成長していつてほしいと願っています。

時々甘えん坊な面も見せてくれます。自分より年下の子の面倒を見るのが好きで、ちょっぴり姉さん気分を味わっているようです。そして、両親には、保育園の送り迎えや、学校から帰宅してからの面倒を見てもらっています。

今月の顔 シリーズ 82



川島 ヤイ子さん (81歳)
(二又)

長寿の秘訣

昨年の光町老人クラブ連合会菊花展で、見事「光町長賞」に輝いた川島さん。「まだまだ自分は長寿とは言えない」と謙虚に話されていましたが、菊作りに関するすべてが、元気につながっている川島さんをご紹介します。

菊作りの仕事は1年がかりで、1～2月は葉土を作る仕事があります。座っているよりも菊の中にいた方が、心が落ち着くとのこと、菊に癒され楽しく動いている様子が良くわかりました。

◎菊仲間との交流

菊作りで知り合いになった仲間が30人もおり、電話だけでなく、仲間の家に遊びに行つては、菊作りの話題で盛り上がり、お互いに情報交換をすることが、とても楽しいそうです。

◎1年を通しての菊作り
71歳から従弟に教えてもらいながら一つ一つ菊作りを覚え、今では賞を頂けるぐらいの素晴らしい腕前ですが、まだまだ、菊を思うように咲かせるのは難しく、奥が深いと話されています。

暑い夏を乗り越え、菊の丈は9～10月には120～150cmにもなり、白・黄・赤と花弁が下り始め、輪台付けが始まります。丈が高いため、台の上に足を乗せ、両手を使つての作業となり、とても疲れます。このよう

な時に、仲間と大変さを共感できた時は励まされ、頑張る意欲につながります。また、大変な反面、花が咲いた喜びで嬉しい作業でもあります。

◎日記の大切さ

日記は50年ぐらい毎日続けており、この他、菊が始まると、別に菊日記もつけています。記録することは改善につながり、また、毎年同じではないからこそ過去の記録が参考になるため、とても大事だと話してくれました。

今度お会いする時には、愛情と経験が詰まった美しい菊をぜひ見せて欲しいです。「花作りが好きであれば誰でも菊を作ることができるので、自由な気持ちで菊作りを始めて欲しい。」とおっしゃっていました。菊に興味のある方は、始めてみませんか？

(保健師 大竹)

『めざそう健康長寿、見直そう生活習慣』

2月1日～7日は「生活習慣病予防週間」です。